まちの話題プラス

11月22日　給食で国東の食材を味わおう

11月22日、「まるごと1日大分の日」の取り組みとして、県内各地の学校給食で県産食材だけを使った献立が作られました。国東市の献立は、富来港で獲れたサワラの「ねぎ塩麹焼き」と「国東いころ鍋」で、地元の富来小学校では児童が美味しそうに食べていました。

11月28日　飲酒ルールの徹底を呼びかけ

11月28日、国東警察署前で、国東小売酒販組合と大分税務署が合同で「交通安全年末街頭キャンペーン」を実施しました。約20人の参加者が、ドライバーや通行人に「未成年の飲酒防止」や「飲酒運転の撲滅」などを強く訴えかけました。

11月29日　自転車を活用した観光振興で西瀬戸地域が連携

11月29日、ホテルベイグランド国東で、大分、福岡、山口、広島、愛媛の自治体関係者などが出席して「サイクルツーリズムシンポジウム」が開催されました。シンポジウムでは、5県が属する西瀬戸地域を周遊する自転車ルートの形成に向け、互いに連携を深めていくことが示されました。

11月30日　農泊の推進で地域振興を

10月30日、国見町のみんなんかんで、国東市観光協会も加盟するＮＰＯ法人大分県グリーンツーリズム研究会の主催による「ザ・農泊シンポジウムin大分・国東」が開催されました。教育旅行や外国人旅行客に需要の高い農家民泊を推進し、地域振興を図ることについて意見交換が行われました。

11月30日　薪作りを学んで里山を守る

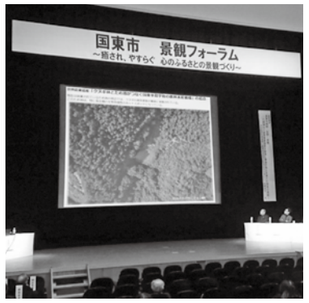
11月30日、国東町小原の東国東郡森林組合で、「国東市薪作り教室」が開催されました。市は里山を保全するため、薪ストーブ設置の補助など、森林資源の活用促進に取り組んでいます。この日は森林組合の職員よりチェーンソーや薪割機についての操作説明と実演が行われ、参加者は薪の活用方法について熱心に学んでいました。

12月9日　柔らか素材で車いすを使いやすく

12月9日、ヘルメット潜水株式会社（安岐町瀬戸田）の伊賀正男社長が市役所を訪れ、車いす用のカバーを贈呈しました。市役所とアストくにさきが備える計3台の車いすに同社のウェットスーツ素材を使ったカバーが取り付けられ、伊賀社長は「利用者のお役に立てれば嬉しいです」と話していました。

12月14日　留学生と楽しく交流

12月14日、武蔵西小学校で、大分大学の留学生23名を招いた「地域体験交流会」が行われました。武蔵西小の児童と地域住民が、留学生と一緒にだんご汁やおにぎりを作って楽しく交流。互いに積極的にコミュニケーションをとり、楽しい時間を過ごしました。

12月14日　ふるさとの景観づくりを考える

12月14日、アストくにさきで、約200人が参加して「国東市景観フォーラム」が開催されました。景観の重要性についての講演や、景観にかかわる活動報告などを発表するパネルディスカッションが行われ、参加者は景観保全の大切さについて学ぼうと熱心に聞き入っていました。